

桜中だより

長崎市立
桜馬場中学校

校長 大塚 潤

みんなで創った合唱コンクール

「合唱コンクール本番、緊張を力に変え、集中して音楽を奏でる桜中生の姿を見て、何度も涙がこみ上げてきました。今年の合唱コンクールも、どのクラスにとっても特別なもの、まさに「櫻歌繚乱」になったと確信しています。練習の過程を思い出す

と、みんなの頑張りが溢れてきます。夏休み中にびっしりと楽譜に書き込み、全パート歌えるようになってきた指揮者、伴奏が上手いかず、泣きながら練習した人、音程を取るのが難しくて諦めずに練習を続ける人、その横ですつと教え続ける仲間、中学生とは思えない力量で（もちろん、そ

の背景には本人の努力があります）クラスの練習を進めた人、クラスで一丸となつて取り組む姿……。本当に素晴らしい！合唱コンクール当日の素晴らしいとともに、その過程が本当に素晴らしいです。

この合唱コンクールを支えたのが、実行委員長の松永さん、副実行委員長

の川村さん、実行委員会メンバー、放送部の牟田さん、森さん、西山君、許君、北原さんです。合唱練習に加えての準備は本当に大変でした。特に松永さんと川村さんの、自分たちでアイデアを出し、実行する力は素晴らしいです。一緒に合唱コンクールを支えることができて、私もとても幸せでした。

目的は次のとおり。

- ①一人一人がルールを守り、集団での生活や活動を通して、協力しながら自主的に考えて行動する「考動力」を身に付ける
- ②地域や歴史文化について見聞を広め、豊かな心を育てる。
- ③校外学習を通して、互いに理解を深め、学年・学級の輪を広げるとともに、楽しい思い出をつくる。

目的を達成させるために、各学級の実行委員、頑張つて準備をしてくれていま



打ち込み、粘り、欲を出して、頑張りました

修学旅行いきます

10月17日（火）から19日（木）に次の行程で、修学旅行に行きます。

「ご家庭での子どもたちへの励まし、PTAの方の運営面での協力等々、たくさんの方で櫻歌繚乱の合唱コンクールとなりました。皆さま、本当にありがとうございました。皆さま、本当にありがとうございました。音楽科 鍵本美陽



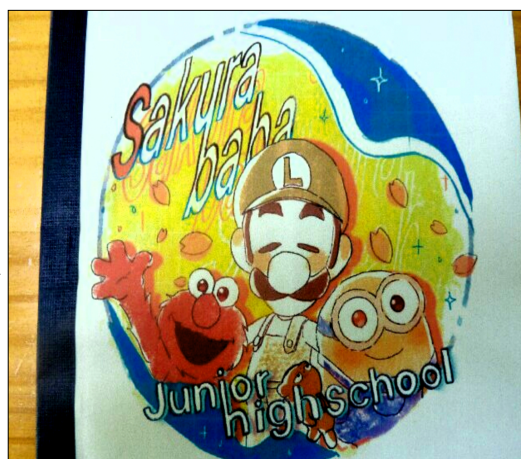
学年目標(テーマ)

STEP UP 考動力 !!

～ルールを守って楽しく学ぶ～

若宮神社子ども神輿

10月14日（土）に実施される「若宮神社子ども神輿」への参加を募ったところ、次の12名の皆さんが手を上げてくれま



さん(2年1組)作

した。本当にありがたう。地域の文化を誇り、ふるさとに貢献しようとする君たちに心から拍手を送ります。当日、頑張ってください。



いじめ根絶に向けた取組

前号に続き、3年生が「個を生かす」「個が生きる」「誰一人取り残すことなく」の理念のもと取り組んだ集会の内容を紹介します。

A君を救った班の仲間の話。生活班とは字のごとく生活を共にし、支えあう仲間であるべきです。(前回はニま)

毎日の勉強や仕事をもにしていくなかで、始めはわからなかったことが、お互い長所や短所を認め合い支え合い、励まし合っていくうちにわかることがあります。A君の級友のように個性を理解した



ていくのです。優しくなるものです。

でも、3年生の中には、悪口、噂話、目くばせ、笑い、無関心、無視……。このような嫌がらせで、心を痛めている人がいます。誰の話だろうと、勘ぐることで、また噂話が始まりますからそれはやめてください。先ほど話した、「しん」とかないかな、苦し

くないかな、嫌じゃないかな。私は楽しかったけど、学級の人、班の人、隣の席の人はどうかなという心配をもっていました。自分は絶対にいじめをしない、自分は全体にいじめを許さない、見逃さないという強い意志を持つてほしい。

④私たちが3年生の学年では、次のことを実践していこうと考えます。みんなの力です。みんなとは、生徒、そして生徒を取り巻く大人である先生や保護者のことです。

(1) 教室の中、班活動、座席での言動に責任を持ち、温かい心で接します。

(2) 先生方と協力して、仲良しグループを脱して、互いに支え合う生活班・座席を作ります。

(3) 一人ひとりの個性を

理解することに努め、互いに認め合います。

(4) 悪口、噂、目くばせ、ばかにして笑ったり、わざとぶつかるなどの嫌がらせを絶対にしません。

(5) 専門部の9、10月の正義の味方部の目標「独りぼっちをなくそう」、学級委員の目標「クラスをより一層団結させよう」を達成します。具体策を行うだけでなく、自分の学級の困っている人や、悩んでいる人に気づき、目標を達成するまでねばり強く働きかけます。

(6) つらいことや苦しいことがあったら、我慢せずに、友達や先生、家族など、周りの大人に伝えてください。

最後のつらいことを伝えることは、簡単ではなく、難しいことかもしれない。でも、サインを送ってほしい。A君の時のように、席の近くの人、班の人、学級の仲間が気付けてほしい。気づくような仲間づくりをしてほしい。

今日は、4つの話をしました。①今日の集会の意味、②A君のいじめの話、③いじめ防止対策推進法の話、④今後の取組に

ついて。これからすることは、いじめと捉えられることをしていた人の犯人捜しではありません。より良い学年にするための学び直しです。できているはずのことが、できていないことがわかったから、学び直して、心の中から本物になるのです。

3年間の目標です。

①学年目標：あたりまえのことをあたりまえに。自分と向き合い努力しよう。仲間を信じて和を作ろう。

②学年目標：自分のためにがんばる自分。仲間のためにがんばる自分。

③学年目標：挑戦しよう、努力しよう、互いの夢を語り合おう。

これらの目標をもう一度念頭に置いて、全員で学び直ししよう。まずは、この9、10月です。2ヶ月では難しいかもしれませんが、決してあきらめなければ、必ず信じあえる仲間になれます。何かがあっても気まぐしくなったり、けんかをして何となく話さなくなった人ともやり直しませんか。誰が悪いとかでなく、自分から話してみませんか。

3年生の時の仲間が、心通じ合えないなんて寂しいです。見えない心で泣いている人に気づいて、温かい心でつながる。必ずできます。「破顔一笑」心から笑える仲間になるよう、一緒に頑張りましょう。

5つの誓い 鷹塚 勇人氏

- 口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使う
- 耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使う
- 目は、人のよいところを見るために使う
- 手足は、人を助けるために使う
- 心は、人の痛みが分かるために使う

読書週間

一冊どあがらう

◆期間 10月27日(金)～11月9日(木)◆
読書週間には、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という目的があります。今年の標語は、「私のペースでしおりは進む」。「秋の読書週間にせひ一冊の本を」が活動の原点。

いつの時代も「子どもが本を読まなくなった」といわれてきました。近年は、映像や電子メディアなどの発達で、ますます子ども達の「読書」の時間がせぼめられていきます。

しかし、どんなメディアの時代でも、それを動かす主役が人間である以上、活字文化は全てのメディアの基礎です。特に幼少期から青少年期においての本との付き合いが重要であると考えます。

多くの皆さんが、書店や図書室・図書館で一冊の本を手にとってみる、そんな「読書の秋」にしてほしいです。

